

2010年度 第1四半期 決算説明会

2010年8月2日

富士電機ホールディングス株式会社

売上増に加え、コストダウン、経費削減により営業損益が大幅に改善

(単位:億円)

	2009年度 第1四半期	2010年度 第1四半期	増減
売上高	1,323	1,424	+101
営業損益	-146	-56	+90
経常損益	-155	-78	+77
特別損益	51	236	+185
当期純損益	-83	100	+183

平均為替レート US\$	¥ 97.32	¥ 92.01	¥ -5.31
平均為替レート EURO	¥ 132.57	¥ 116.99	¥ -15.58

営業損益

物量増他	+96	工事進行基準影響	-32
コストダウン	+30	研究開発費増	-23
経費減	+37	価格ダウン	-15
資本費減	+9	為替影響	-7
		コストアップ	-3
		人件費増	-2

計 +172

計 -82

営業外損益

為替影響	-21
金融収支	+4
持分法投資損益	+3

特別損益

投資有価証券売却益	+302 (0 → +302)
工事進行基準適用影響	-59 (+59 → 0)
投資有価証券評価損	-25 (-2 → -26)
資産除去債務適用影響	-23 (0 → -23)

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	2009年度 第1四半期	2010年度 第1四半期	増減	2009年度 第1四半期	2010年度 第1四半期	増減
エネルギーソリューション	177	119	-58	1	-11	-12
環境ソリューション	506	534	+28	-27	-28	-1
半導体	134	209	+75	-61	8	+68
器具	82	149	+67	-18	1	+20
自販機	219	181	-38	-3	-15	-13
ディスク媒体	79	119	+41	-30	1	+31
その他	211	232	+21	-6	-6	0
消去または全社	-85	-118	-33	-2	-6	-4
合計	1,323	1,424	+101	-146	-56	+90

エネルギーソリューション

前期の受注減の影響を受け、売上高、営業損益ともに前年同期を下回る。

環境ソリューション

【産業】国内大型設備投資の抑制や海外大口売上の端境期により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回る。

【社会】電源事業統合の影響や情報システム関連の増加により売上高、営業損益ともに前年同期を上回る。

【輸送】中国・アジア向け需要増を背景として、インバータを主とした搬送システムが好調に推移し、売上高、営業損益ともに上回る。

半導体

産業向けは設備投資の回復により大幅増加、自動車向けも環境対応車需要に支えられ好調に推移、電源向けも好調に推移し、売上高は前年同期を上回る。営業損益は売上増に加え、前期の構造改革効果により大幅に改善。

器具

中国・アジア向け需要増を背景として、売上高は前年同期を大幅に上回る。営業損益は売上増に加え、前期の構造改革効果により大幅に改善。

自販機

飲料メーカーの投資抑制により売上高、営業損益ともに前年同期を下回る。

ディスク媒体

HDD市場は堅調に推移し、売上高は前年同期を大幅に上回る。営業損益は、売上増に加え、前期の構造改革効果により大幅に改善。

2010年度第1四半期 連結貸借対照表

資産の部	10/3/31	10/6/30	増減
現金及び預金	373	858	+485
売上債権	2,231	1,544	-687
棚卸資産	935	1,091	+156
その他	618	642	+24
流動資産 計	4,157	4,135	-22
有形固定資産	1,762	1,707	-55
無形固定資産	106	104	-2
投資その他の資産	3,063	1,953	-1,110
固定資産 計	4,930	3,763	-1,167
繰延資産	2	2	-0
資産 合計	9,089	7,901	-1,189

(単位:億円)

負債、純資産の部	10/3/31	10/6/30	増減
買入債務	1,317	1,110	-208
金融債務	3,598	2,969	-629
その他負債	2,213	2,074	-139
負債 合計	7,128	6,153	-975
資本金	476	476	0
資本剰余金	467	467	0
利益剰余金	420	510	+89
自己株式	-71	-71	-0
株主資本	1,292	1,382	+89
評価・換算差額等	496	192	-304
少数株主持分	173	174	+1
純資産 合計	1,961	1,748	-213
負債・純資産 合計	9,089	7,901	-1,189
自己資本比率(%)	19.7	19.9	+0.1
ネットD/Eレシオ(倍)	1.8	1.3	-0.5

売上債権の回収、投資有価証券の売却によりフリー・キャッシュ・フローの大幅黒字を確保

(単位:億円)

	2009年度 第1四半期	2010年度 第1四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	78	247
投資活動によるキャッシュ・フロー	-49	882
フリー・キャッシュ・フロー	29	1,130
財務活動によるキャッシュ・フロー	-295	-648
換算差額等	1	3
増 減	-264	485

売上債権の回収

投資有価証券の売却

CP・借入金の返済

現金及び現金同等物の期首残高	854	373
現金及び現金同等物の期末残高	589	858

足元の状況を鑑み、上期の業績予想を修正

(単位: 億円)

	5/11発表 上期予想	7/30発表 上期予想	増減
売上高	3,130	3,130	0
営業損益	-125	-110	+15
経常損益	-160	-150	+10
当期純損益	80	35	-45

【第2四半期の前提為替レート】

	US\$	EURO
前提為替レート	¥90.00	¥115.00
1円影響(億円)	0.9	0.2

営業損益

環境ソリューション	+15	} 物量増
半導体	+5	
器具	+10	
自販機	-5	
ディスク媒体	-15	
消去または全社	+5	

営業外損益

金融収支	+8
為替影響	-18

特別損益・法人税等

特別損益	-30
法人税等	-25

2010年度上期 部門別売上高・営業損益(予想)

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	5/11発表 上期予想	7/30発表 上期予想	増減	5/11発表 上期予想	7/30発表 上期予想	増減
エネルギーソリューション	245	235	-10	-40	-40	0
環境ソリューション	1,150	1,215	+65	-60	-45	+15
半導体	410	440	+30	20	25	+5
器具	250	290	+40	-5	5	+10
自販機	395	390	-5	-20	-25	-5
ディスク媒体	300	250	-50	10	-5	-15
その他	565	530	-35	-5	-5	0
消去または全社	-185	-220	-35	-25	-20	+5
合計	3,130	3,130	0	-125	-110	+15

環境ソリューション: インバータの好調を主因として売上高、営業損益ともに前回予想を上回る見通し。

半導体: 産業向け半導体の好調により売上高、営業損益ともに前回予想を上回る見通し。

器具: 中国・アジア向け需要増を背景として、売上高、営業損益ともに前回予想を上回る見通し。

自販機: 自販機市場は厳しい状況が続き、売上高、営業損益ともに前回予想を下回る見通し。

ディスク媒体: HDD市場の伸長が当初想定を下回り、売上高、営業損益は前回予想を下回る見通し。

足元の状況を鑑み、通期のセグメント内訳を修正

(単位:億円)

	5/11発表 通期予想	7/30発表 通期予想	増減
売上高	7,200	7,200	0
営業損益	160	160	0
経常損益	135	135	0
当期純損益	260	260	0

	US\$	EURO
前提為替レート	¥90.00	¥115.00
1円影響*(億円)	2.5	0.4

※第2四半期～第4四半期

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	5/11発表 通期予想	7/30発表 通期予想	増減	5/11発表 通期予想	7/30発表 通期予想	増減
エネルギーソリューション	730	730	0	10	10	0
環境ソリューション	2,900	3,000	+100	80	85	+5
半導体	830	880	+50	50	60	+10
器具	500	580	+80	0	10	+10
自販機	860	815	-45	20	10	-10
ディスク媒体	600	550	-50	20	10	-10
その他	1,260	1,225	-35	20	20	0
消去または全社	-480	-580	-100	-40	-45	-5
合計	7,200	7,200	0	160	160	0

1. 本資料および本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。